



ひとりで悩まないで、まずはご連絡ください。

女性のための相談

●面接相談 ※電話予約が必要です

夫婦関係、子育て、介護など女性のさまざまな悩みを受け止め、自分自身の力で次の一歩を踏み出せるように相談員がサポートします。

日時 火・木・土曜日(月の5週目を除く) / 10:00~12:00、13:00~16:00
第4火曜日(休館日の場合は第3火曜日)のみ上記時間に加えて
18:00~20:00も実施

●労働相談 ※電話予約が必要です

解雇、ハラスメント、労働時間、厚生年金などの相談に女性社会保険労務士が応じます。ご予約いただければ電話での相談も可能です。(職業紹介・あっせんではありません)

日時 第2土曜日 / 13:30~16:20

●法律相談 ※電話予約が必要です

女性をとりまく法律上の問題に女性の弁護士が相談に応じます。予約は相談日の2週間前から受け付けます。

日時 第1水曜日 / 13:00~16:00

面接・労働・法律相談の電話予約はこちらまで

TEL.072-960-9205
10:00~17:00 (イコーラム休館日を除く)

●電話相談

相談には行きにくい…訪ねる時間がない…というときには、電話で相談ができます。専門相談員があなたの悩みを受け止め、あなたをサポートします。

時間 10:00~17:00(イコーラム休館日を除く)

TEL.072-960-9206

●女性の悩みを外国語で相談できます

英語 / 中国語 / 韓国 / 朝鮮語など

相談時間 10:00~17:00(イコーラムが開いている日)

※相談の日と時間を決めますので、電話で予約してください。

予約はこちら

日本語が話せない方 TEL.06-4309-3311

日時 月~金曜日(市役所が開いている日) / 10:00~17:00

日本語が話せる方 TEL.072-960-9205

時間 10:00~17:00(イコーラムが開いている日)

東大阪市立男女共同参画センター・イコーラム

休館日:毎月第4月曜日(祝日の場合は開館、その翌日が閉館)
及び年末年始(12月29日~翌年1月3日)

秘密厳守!相談はすべて無料

男性のための相談

●電話相談

男性相談員による男性のための電話相談です。仕事や家庭などに関するさまざまな男性の悩みの相談に応じます。

日時 第1土曜日 / 13:00~17:00 第3水曜日 / 19:00~21:00

TEL.072-966-5002



DVに関する専門窓口

●東大阪市DV専門相談

配偶者からの暴力(DV)に悩む方へ。
まずはお電話を。
専門相談員が対応します。

日時 月~金曜日(祝日、12月29日~翌年1月3日を除く)
9:00~12:00、12:45~17:00

TEL.06-4309-3191



DVに関する相談は以下の窓口でも受け付けています

●大阪府東大阪子ども家庭センター(DV専用)

配偶者からの暴力に関する相談

日時 月~金曜日(祝日・年末年始を除く)
9:00~17:45

TEL.06-6721-2077

●大阪府女性相談センター

配偶者からの暴力に関する相談、家族や男女関係のトラブル等の相談

時間 9:00~20:00(祝日・年末年始を除く)

TEL.06-6949-6022

時間 24時間365日対応(夜間・祝日DV電話相談)

TEL.06-6946-7890



How

HOWとは…Higashi Osaka Womenの頭文字で、「お元気ですか?」「どのように生きていきたいですか?」というHOWの意味も込められています。

デートDV

交際中のカップルの中で起こる暴力のことです。



その「恋愛」だいじょうぶ?

ワクワク、ドキドキ。
一緒にいるだけで満たされる気持ちだ。
でも、いま若い恋人同士の間で
深刻なデートDVの被害が起こっています。

暴力とは、殴る、蹴るだけでなく さまざまなかたちがあります。

- 行動の制限 ★ メール返信が遅いと怒る、行動をすべて報告させる など
- 精神的暴力 ★ 別れたら死ぬと言う、お前のせいだと言う など
- 経済的暴力 ★ 貸したお金を返さない、無理やりお金を出させる など
- 身体的暴力 ★ 殴る、蹴る、首を絞める、突き飛ばす など
- 性的暴力 ★ 無理やり性的な行為をする、避妊に協力しない など

交際相手に対して 次のように感じていませんか。

- 交際相手を怖いと感じたことがある
- 相手に絶対に逆らえないと感じたことがある
- 相手を自分より上(対等でない)と感じたことがある
- された人が怖いと思う行為は暴力です。
- 相手の自由な意思を抑えつけるのは支配です。

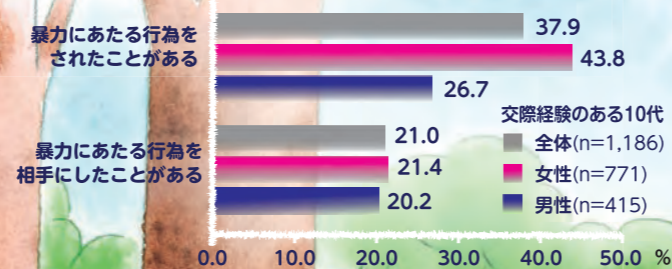
どんな場合でも 暴力を受けてよい人は誰もいません。

「男らしさ、女らしさ」の呪縛 ～なぜデートDVが起こるのか～

「男性は少し強引なぐらいが頼りがいがある」
「女性なら男性の言うことに従うべき」。
あなたには、こんな意識はありませんか？
固定的な「男らしさ、女らしさ」のイメージに縛られると、相手との関係が対等でなくなります。
相手が悪ければ多少の暴力は許されるという考えもデートDVにつながる背景です。

デートDV^{恋人間の暴力}は、 若い世代に 身近な問題

若者を対象に実施された調査によると、交際経験のある10代の若者で、暴力にあたる行為をされたことのある人は37.9%にのぼりました。一方で、したことがある人は21.0%です。



「10代で交際経験のある人のデートDVの経験」 全国デートDV実態調査

デートDV予防教育を実施する5団体が、受講した中学生・高校生・大学生を対象に平成28年に調査を実施。若者のみを対象とする全国規模の調査としては初めてとなる。(有効回答者2,122人/うち10代は1,918人)

素敵な恋愛のために

- ★ 恋人を、自分の“モノ”だと思わない
- ★ 束縛・支配・暴力を愛情と勘違いしない
- ★ 暴力はどんな理由があってもふるわない
- ★ 嫉妬を理由に束縛しない
(感情は認めつつ、あなたが選んで行う行動とは分けて考えましょう)
- ★ お互いに相手の気持ちやからだを大切にする
- ★ 男らしさ、女らしさにとらわれず、自分らしさを大切にする
- ★ 自分のことは自分で決める

人を愛するとは、自分と相手の人生を大切にすること。

対等で自立した、相手を尊重する関係をつくりましょう。

まさしいこ 正井禮子さん

NPO法人女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ代表理事
2006年から開始した中・高・大学生へのデートDV防止出前講座の受講者は延20万人にのぼる。



出前授業を受けた子どもたちの反応は、「もっと早く知っていたらよかった」「交際する前に知ってよかった」というものがほとんどで、被害を受けていてもそれがデートDVとは気づいていないのです。つらい思いを自分ひとりで抱え込んでいます。子どもの様子が気になったら、子どもを問い詰めたり責めたりするのではなく、「あなたのことをいつでも心配しているよ」「どんなときでも味方になる」というメッセージを伝えてください。子どもたちの間に起こっているデートDVの現実を正しく知ることが予防の第一歩です。

正しく知って、子どもにも寄りそう

